

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 ファースト・ステリライズクリーナー
 会社名 大一産業株式会社
 住所 (〒650-0022)兵庫県神戸市中央区元町通5丁目1番20号
 電話番号 078-351-2561(代表)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性		
引火性液体		分類できない
金属腐食性物質		分類できない
健康影響性有害性		
急性毒性(経口)		区分外
急性毒性(経皮)		区分外
急性毒性(吸入・気体)		分類できない
急性毒性(吸入・蒸気)		分類できない
急性毒性(吸入・粉じん及びミスト)		分類できない
皮膚腐食性/皮膚刺激性		区分1
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性		区分1
呼吸器感作性		分類できない
皮膚感作性		区分外
生殖細胞変異原性		区分1B
発がん性		分類できない
生殖毒性		区分1A
特定標的臓器毒性/全身毒性(単回暴露)		分類できない
特定標的臓器毒性/全身毒性(反復暴露)		区分2(肝臓)
吸引性呼吸器有害性		分類できない
環境影響有害性		
水生環境有害性(急性)		区分2
水生環境有害性(慢性)		区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語



危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
 遺伝性疾患のおそれ
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 長期にわたる、又は反復暴露による肝臓の障害のおそれ
 水生生物に毒性

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 取り扱い後は手をよく洗うこと。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 指定された個人用保護具を使用すること。

応急措置

飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。
皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用してい
て容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

暴露又は暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合又は、眼に入った場合は直ちに医師に連絡すること。

肌荒れを起こす場合があるので注意する。クリーム等で皮膚を保護する。

気分が悪いときは医師の診断/手当てを受けること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管(貯蔵) 施錠して保管すること。

廃棄 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して
廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
含有成分 : 主剤1 ジデシルジメチルアンモニウム塩
主剤2 アルキルグルコシド
主剤3 脂肪酸メチルエタノールアミド
主剤4 エタノール
主剤5 食用色素赤色106号

pH : 8.0~10.0
比重 : 1.00~1.05

主剤1に関する情報

化学名 : ジデシルジメチルアンモニウム塩
CAS番号 : 非公開
官報公示整理番号(化審法) : あり
官報公示整理番号(労衛法) : あり
化学物質管理促進法 : 該当せず

主剤2に関する情報

化学名 : アルキルグルコシド
CAS番号 : 113976-90-2
官報公示整理番号(化審法) : あり
官報公示整理番号(労衛法) : あり
化学物質管理促進法 : 該当せず

主剤3に関する情報

化学名 : 脂肪酸メチルエタノールアミド(表示名: コカミドメチルMEA)
CAS番号 : 非公開
官報公示整理番号(化審法) : あり
官報公示整理番号(労衛法) : あり
化学物質管理促進法 : 該当せず

主剤4に関する情報

化学名 : エタノール
別名 : エチルアルコール、メチルカルビノール、ヒドロキシエチル、エチルハイドレート、酒精、ワインスピリット
化学式 : C₂H₅OH
分子量 : 46.07
CAS番号 : ethanol No.64-17-5
官報公示整理番号(化審法) : (2)-202
官報公示整理番号(労衛法) :
化学物質管理促進法 : 該当せず
労働安全衛生法 : 第57条の2通知対象物質(61)
国連分類 : クラス3(引火性液体)
国連番号 : 1170

4. 応急措置

- 眼に入った場合 : 清浄な水で最低15分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 肌荒れを起こす場合があるので注意する。クリーム等で皮膚を保護する。異常を感じた場合は、水で洗い流しながら洗浄し、医師の手当てを受ける。
- 吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移し、ひどい場合は医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄した後、コップ数杯の水又は牛乳を与えて胃内を希釈し、無理に吐かせず直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤水、炭酸ガス、砂、霧状水。
- 消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。消火作業は、保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。消火活動は可能な限り風上から行ない有害なガスの吸入をさける。

6. 漏出時の措置

- 大量の場合 : 作業には可能な限り保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。土砂等の不燃物で困って流出を防止し、スコップまたは吸引機などで空容器に回収する。回収後の少量の残留物は土砂またはおがくずに吸引させる。残留物が極少量の場合は、多量の水で洗い流す。
- 少量の場合 : 吸着剤(おがくず、土砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取り、大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 原液を取り扱う場合は保護具を着け、皮膚、眼に付着しないように注意する。霧、蒸気の発生する可能性がある場合は、必ず保護マスクを着用するとともに、適当な換気を行う。
- 保管 : 密栓し、直射日光を避け、風通しの良いところに保管する。ステンレスまたはポリエチレンの容器に入れ保管し、軟鉄、銅、アルミニウム、亜鉛などの腐食性がある容器には入れない。
- 貯蔵方法 : きちんと並べて、一ヶ所にまとめて保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。鉄などを錆びさせるため、設備には防錆加工が必要である。
- 許容管理濃度 : 設定されていない。
- 保護具 : 通常はゴム手袋、ゴム前掛、保護眼鏡を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状态 : 液体
- 色 : ピンク色透明液体
- 臭い : 特異臭あり
- 揮発性 : なし
- 溶解性 : 水によく溶ける

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の実取扱いにおいては安定。危険有害な分解生成物は発生しない。
- 反応性 : データなし
- 引火点 : データなし
- 発火点 : データなし
- 爆発限界 : データなし
- 可燃性 : データなし
- 発火性 : データなし
- 自己反応性・爆発性 : データなし

11. 有害性情報

- <主剤1>
- 急性毒性
- ・経口マウス : LD50 500 mg/kg
- 局所効果(皮膚) : 弱い刺激性(ウサギ) P. I. I=1.22
- 変異原性 : データなし
- 亜急性毒性 : データなし

以下は類似品の情報

皮膚刺激性	: 原液中中等度の刺激性あり（但しウサギ） <類似品・社内データ> 10倍希釈液で軽度刺激性あり（但しウサギ） <類似品・社内データ>
眼粘膜	: 原液で極度の刺激性あり（但しウサギ） <類似品・社内データ> 10倍希釈液で中等度の刺激性あり（但しウサギ） <類似品・社内データ>

12. 環境影響情報

移動性	: 情報なし
蓄積性	: 情報なし
魚毒性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
水生生物毒性	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

焼却炉にて少量ずつ焼却処理する。(焼却炉の火室に噴霧、またはおがくず、ケイソウ土などの吸着剤に吸収させて、開放型焼却炉で少量ずつ焼却処理する)または、都道府県の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

運搬に際しては容器に破損、腐食、漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

・陸上輸送	: 労働安全衛生法等に定められている運輸方法に従う。
・海上輸送	: 船舶安全法に定められている運輸方法に従う。
・航空輸送	: 航空法に定められている運輸方法に従う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法	: 該当しない
労働安全衛生法	: 施行令 別表第9 名称等を通知すべき有害物61 エタノール
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
消防法	: 該当しない
船舶安全法	: 該当しない
航空法	: 該当しない
水質汚濁防止法	: 該当する（水素イオン濃度）

16. その他の情報

記載内容の問い合わせ先	: 大一産業株式会社 環境衛生事業部 TEL:078-351-2561(代表)
-------------	--

17. 注意

- ・この情報は新しい知見および試験等により改正されることがあります。
- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
- ・注意事項は、通常の手扱いを対象としたものですが、特別な手扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
- ・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、手扱いには細心の注意が必要です。
- ・ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。